

# 5年生が防災学習をしました



12月5日（木）に5年生が総合的な学習で防災学習をしました。前半は、ぎふ女性防災士会の伊藤会長さんから、地震や水害の被災地での話を聞きました。災害が起きて避難所に多くの方が避難してきたときに、いちばんの問題はトイレで、地震や水害で断水すると普通のトイレは使えなくなるそうです。そこで、普通のトイレにビニール袋や凝固剤、新聞紙を使い、汚物进行处理する方法を教えてください、実際に体験しました。

後半は、瑞穂市の市民協働安全課の所さんから、西小の中庭にある防災倉庫にどんな物が入っているかや、発電機を使う時に気を付けることを教えてくださいました。また、段ボールベッドを組み立てて実際に寝転がったり、非常食のアルファ化米のわかめご飯を準備して試食したりしました。

子どもたちの振り返りには、「液状化現象が起きると、水道管が破裂するなどして、いろいろな被害があることが分かった。」「段ボールベッドをつくるのは大変だったけど、ねじがないので協力すれば意外と作れると思った。」「今後のために、家の備蓄品を確かめて、足りないものがあれば準備していきたい。」といった感想がありました。

避難所では、避難者がみんな考え、助け合って生活をしないとはいけません。小学生でも自分でできることを考え、災害時に生かせるように、体験を通して学ぶことができました。